



未丈ははるか彼方（Jパーティ）

奥只見

## 銀山平から日向倉山

佐藤（仁）

【日時】 2007年4月8日

【メンバー】 佐藤(仁) (L)、山口、植島、三坂

昨秋の会山行以来の奥只見。尾木原車を飛ばして今宵の宿道の駅湯之谷を目指す。すでにながりの車が止まっていた。

6:00にシルバーラインのゲートが開き、銀山平の集合場所に車を止めて仕度をしてると高橋車到着。「仁さん悪いけどリーダーやって」と突然のお言葉。聞けば昨日の疲れがあるとの事で子安さんもお休みとの事。

スキー組と日向倉山でミニ集中。橋を渡り雪に埋もれた小屋の横に着けられた立派なトレースが有り、まずはいきなりの急登。気温も高くおまけに日差しも強い。

仁がトップ、暫く離れて久しぶりの山行の3人はピッチが上がらず、一向に距離が縮まらない。赤崩山直下で3人を待つ。日向倉山そして未丈ヶ岳が山頂を雲で隠して見え、振り返ると荒沢岳と越後駒も山頂は雲の中。

一息入れて、広く大したアップダウンも無い尾根をハイキング気分で目的の日向倉山を目指す。途中、かもしかやウサギの足跡が交錯している。実はあわよくば対岸に熊でも見えぬかと時々目を凝らす、見る事は出来なかった。

9:00と10:00の定時交信はうまく繋がらず、各パーティーの動きがわからない。遠くに見えた日向倉山も意外に近く、日向倉沢の源頭の急斜面が右に見え出すと突然藤本パーティーから「山頂の約100m程下」と入電。

私も最後の登りを登れば広い山頂だ。あとの3人を待つ間に中村や佐貫から相次いで入電。よく見ると途中のピークにゴマ粒のように人が見える。藤本そして山口、植島、三坂と山頂に到着。栗原、へびメタ尾木原、少し遅れて池田も山頂に。ささやかなミニ集中の達成。久しぶりの山頂での握手である。

中村Pは丸山スキー場を目指し滑り始めているようで、他のパーティーも此方に向かって滑ってきている。追いつかれぬうちに下山開始。

腐った雪に足を取られながらも快調に往路を戻る。ここで笹川Pより入電。「もう少しで日向倉山」との事。強い日差しの為か少し顔がヒリヒリしてきた。

あっという間に赤崩山直下に着く。後は一気に眼下の駐車場を目指す。下に辿り着くと高橋さんからビールのご馳走。4人で飲み終わると次々に各Pが到着。後は風呂、そしてお目当ての「じねん」での食事が待っている。

平均年齢が一番高いパーティーでしたが、ミニ集中達成。皆さんお疲れ様でした。今度は日向倉沢に山菜取りでも来たいものです。

【行程】 銀山茶屋7:15～赤崩山直下8:30～山頂10:55～銀山茶屋13:05 【地図】 「未丈ヶ岳」